

はねっと 11

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

尺八の音色が響くまちへ

尺八奏者

ひらさわ

しんご

平澤 真悟 さん(29)

日本の伝統楽器尺八で、多彩な音色を響かせるのは、県内でも珍しい20代の尺八奏者、平澤真悟さんです。「尺八は、竹製で前に穴が4つ、後ろに1つのシンプルな楽器。だからこそ、その人らしい表現ができる」と魅力を話します。一般的に、尺八は、箏、三味線との古典曲演奏や民謡の伴奏、郷土芸能のお囃子などで登場します。平澤さんは、ホテルやバー、イベントに出向き、和楽器のみならず、ピアノやフルートなどの洋楽器ともコラボ。ピアノと現代的な曲を披露したり、ジャズを演奏したりして、尺八の世界を広げています。

平澤さんは秋田県出身。尺八との出会いは、東北大学の学友会邦楽部でした。初めて見る和楽器を、先輩たちが演奏する姿に心惹かれました。尺八は、穴の塞ぎ方や顎の動かし方で音が変わり、表現は無限です。一方、息の吹き込み方や音の高さの調整が難しく、平澤さんも当初は、ほとんど音を出すことができませんでした。「負けず嫌いなこともあり、音を鳴らしたいと夢中になるうちに好きになった」と振り返ります。大学卒業後は、仙台で銀行に勤めながら、尺八教室に通い腕を磨きました。2021年、道を定め退職。演奏者としての一歩を踏み出しました。尺八は、近年、海外からの評価が高まる一方で、国内ではあまり知られていません。「この状況が歯がゆい。子どもたちを含めもっと多くの人に聴いてほしい」と、平澤さん。様々な楽器とのコラボや聴きなじみのある曲に挑戦するのは、多くの人に知ってほしいという願いからです。

今後は、教育現場などでも演奏したいと考えています。「生の音を楽しめる機会をつくりたい。気軽に親しんでもらえたら」。尺八と出会ったまち仙台から、尺八の音を未来へ繋ぎます。



© 山本楓子



▲ピアニスト田辺正樹さんと演奏

演奏のご依頼を
受け付けています

Mail hirasawa.shingo@gmail.com



▲HP



その時心が動いた「今、私にできること」

被災地へ フラダンスでできることを

アメリカ・ハワイ州マウイ島で2023年8月8日に大規模な山火事が発生しました。仙台市青葉区でマカニオルオルフラスタジオを主宰する尾形礼子さんおがたれいこと相田博子さんあいだひろこは、「何かしたい」と、チャリティイベントを企画しました。9月18日に開催したイベントには、スタジオの生徒やフラを通じた仲間が参加。日頃の練習の成果を披露し合ったり、ウクレレの演奏を楽しんだりし、270,891円の寄付が集まりました。

提案者である尾形さんのアクションを後押ししたのは、明治以降にハワイに渡った日本人移民3世である親戚の存在でした。東日本大震災時、親戚を含む福島県にルーツのある移民たちは、寄付を集めて被災地の復興を応援。尾形さんは「山火事のニュースを見て、何かしなきゃと思ったとき、彼らの行動を思い出した」と振り返ります。また、尾形さんらは、東日本大震災後か

ら10年以上、様々な形でチャリティイベントを続けてきました。「一人では何もできないけれど、皆の気持ちが集まれば大きな力になる」。経験を通じた確かな実感もありました。

「何かしたいけど、どうしたら…と、もどかしい気持ちを抱えている仲間もいた。私ができることは、チャリティやろう!と切り出すこと」と、尾形さん。皆の思いをマウイ島に届けます。



▲尾形さんと相田さんの声に約70人が集合



▲マカニオルオル
フラスタジオHP



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

多様な性を尊重し合えるまちへ！「みやぎにじいろパレード 2023」参加者募集中

毎年、多様な性を尊重し合えるまちをつくろうと開催される「みやぎにじいろパレード」。今年は、仙台市中心部を行進するほか、屋内会場では、LGBTQをはじめとした多様な性について理解を深めることができるパネル展示なども開催されます。趣旨に賛同する人なら誰でも参加できます。実行委員会は「誰もが自分らしい生き方ができる宮城を目指して歩きます。あなたらしい装いで、ぜひお越しください」と呼びかけています。



▲昨年は、県内外から150人が参加



▲多様性を象徴する虹色を身に付け行進

パレード

日時:2023年11月19日(日)

11:30受付開始／12:00スタート／13:00ゴール・ブライドミーティング

集合:肴町公園

定員:200人

主催:みやぎにじいろパレード実行委員会・にじいろCANVAS

Mail mnp2416@gmail.com



▲申込みは
HPから

屋内会場(展示・ブース等)

うぢらで虹かけっぺし会場

(男女共同参画推進せんだいフォーラム2023
参加企画)

日時:2023年11月19日(日)

10:30~17:00(申込み不要・入退場自由)

場所:エル・パーク仙台 ギャラリーホール

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。

「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 11月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2023年11月1日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

